※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0203

令和５年度　教養

教科	教養	科目	情報活用基礎	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	ポイントでマスター　基礎から始める情報リテラシー（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「情報とは何か」というテーマを元に、身の回りの「情報」に関心をもち適切に扱えるようになろう。
- コンピュータやネットワークを活用した「協働」作業を行うことができる技術を身につけ、知識基盤社会を生き抜くための力を身に付けよう。
- コンピュータの仕組みや特徴を理解し、ディジタル機器を適切に扱い管理できるようになろう。

２　学習の到達目標

- 情報機器の扱い方や活用方法についての知識や技能を身につける。
- 共同作業を通して、他者へ正しく・よりわかりやすく情報を伝えるように工夫し、表現することができる。
- 情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	さまざまな事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	コンピュータを適切に扱えるようになろう(1)	・コンピュータの基本的な扱い方について ・タッチタイピング習得にむけての練習 ・ローマ字の習得	a:　コンピュータを活用しようとしている。 b:　メディアからの情報を客観的に評価している。 c:　タッチタイピングを習得するための練習を行っている。	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表
	情報モラルについて(1)	・SNS との付き合い方 ・誤解を生む表現 ・危険なアプリ ・ディジタルタトゥー	a:　SNS の仕組みや扱い方を知っている。 b:　目的に応じて、適切なメディアを選択し表現することができる。 c:　プリントに積極的に記入している。	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表
後期	コンピュータを適切に扱えるようになろう(2)	・タッチタイピングを習得 ・ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを用いた、スライド等の作成	a:　タッチタイピングを行うことができる。 b:　文字装飾やレイアウト、関数を使用し、文書や表を作成することができる。 c:　課題に対し、積極的に取り組んでいる。	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表
	情報モラルについて(2)	・ディジタル万引き ・個人情報の扱い ・情報の信ぴょう性 ・不正アクセス	a:　情報通信ネットワークを適切に扱うことができる。 b:　情報の真偽について考えることができる。 インターネット上のさまざまなコミュニケーションの特性を理解している。 c:　他人の個人情報について関心を持っている。	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度